

第 10 回首都圏小児結核症例検討会（令和元年度）開催概要

日 時 令和元年 11 月 9 日（土曜日） 14 時 00 分から 17 時 00 分
内 容 1 首都圏における小児結核症例の検討 3 症例
2 講演 「小児結核の検査診断、治療について」
参加者 小児科診療、結核診療等に従事する医療機関従事者（医師・看護師等）及び小児結核に携わる行政機関関係者（本庁および保健所の医師・保健師等）
参加人数 136 名
会 場 東京都議会議事堂 1 階 都民ホール

第 10 回首都圏小児結核症例検討会において、発表された症例は以下の通りです。

【検討症例①】 接触者健診で発見された肺結核の 1 例

未就学児の肺結核対応事例～母子への関わりを通して～

【検討症例②】 急性肺炎を合併し、治療選択に苦慮した重症粟粒結核の 12 歳インド人男児例

当院における結核患者へのソーシャルワーカーとチャイルド・ライフ・スペシャリストによる心理社会的支援

【検討症例③】 発症から診断までに 7 か月を要した粟粒結核の乳児例

粟粒結核の乳児の事例～保健所の立場から

（尚、個人情報保護のため、検討症例についての配布資料はありません。）

講演「小児結核の検査診断、治療について」

都立小児総合医療センター呼吸器科・結核科医長 宮川 知士先生の講演内容について掲載します。

本検討会により明らかになった課題を踏まえ、今後の小児結核対策への取組として考えられるものは、以下のとおりです。

○ 今後の小児結核対策への取組

- ① 乳幼児における IGRA の意義と結果の解釈
- ② 小児結核における発病診断の妥当性
- ③ 小児結核患者の外来・入院医療体制の整備
- ④ 小児結核診療コンサルテーション体制の確立
- ⑤ 小児結核発症時の家族内ハイリスク接触者の対応（兄弟姉妹の対応等）
- ⑥ 保健所および医療機関と小児を取りまく関係機関との連携
- ⑦ 小児結核における重症結核発症のリスク評価と対応（早期診断、早期治療）
- ⑧ 乳幼児の接触者健診実施可能な医療機関の整備
- ⑨ 外国出生結核患者の患者支援・家族支援（言語的・文化的アプローチ）
- ⑩ BCG 接種の副反応とコッホ現象発生時の適切かつ迅速な対応